

平成23年度前期講座のご案内

前期(4月~7月)分の募集です。



学生募集!!

- 講座内容 日・水・土曜日に通常の講座を計9講座(12回講義が8講座+6回講義が1講座)を開講します。木曜日の夜にイブニングスクールとして、1講座(6回講義が1講座)を開講します。
*講師・実技などの関係で講義日が変更する場合があります。
 - 開講場所 羽曳野市立生活文化情報センター(LIC はびきの) 羽曳野市軽里1丁目1番1号
(交通:近鉄南大阪線「古市駅」下車 西へ徒歩約15分、または近鉄バス「軽里一丁目」下車すぐ)
*実習や現地見学などで講座場所を変更する場合があります。
 - 定員 1講座につき60人です。定員を超えたときは、講座ごとで抽選を行なう場合があります。
 - 受講費用 講座①~⑧は1講座(12回)→6,000円 / 講座⑨・⑩は1講座(6回)→3,000円
実習費や入館料などが別途必要な場合は実費負担です。
 - 入学資格 どなたでもお申し込みいただけます(居住地、勤務地や年齢は問いません)。
*介助(点訳・託児等)が必要な方も受講できますので、その旨をお知らせください。
*託児については、2歳児~就学前のお子様に限らせていただきます。それ以外はお相談ください。
 - 単位認定 1講座につき2単位(講座⑨・⑩は1単位)を修得できます。
(既定の出席とレポートを提出した場合に限ります)
合計24単位を修得すると「はびきの市民大学学士」の学位記を授与します。また、提携している大学での単位認定が可能な講座もあります。詳細は市民大学までお問い合わせください。
 - 募集締切 3月19日(土) 必着
 - 受講決定 3月28日(月)までに受講決定の通知が届かない場合は、至急市民大学までご連絡ください。
 - 受講手続 4月1日(金)~10日(日)の期間内に受講料をそえて入学手続を行なってください。
 - 入学式 4月16日(土)14:00~16:00(予定) LIC はびきの ホールM
 - その他 定員に満たない場合は1講義ごとの受講申込を受付けることもあります。
①受講料…別途、800円をお支払いいただきます。
②申込期間…対象講義の1週間前から対象講義の前日までとし、当日の申し込みは不可とします。
なお、先着順で申込を受け付け、定員60人に達しましたら締め切らせていただきます。
③申込方法…電話もしくは事務室に直接申し込むかのどちらかのみです。
- 申込方法について
- ①インターネットに接続できるパソコンからのお申込み詳細は、はびきの市民大学ウェブサイト <http://www.city.habikino.osaka.jp/lic/shimindaigaku/index.html> をご覧ください。
 - ②直接来館 ※返信用はがきを必ず持参の上、お越しく下さい。
 - ③往復はがきでの申し込み 下記の必要事項を記入して市民大学までお申し込みください。

<p>往信用はがき表面</p> <p>返信</p> <p>〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LIC はびきの内 はびきの市民大学</p>	<p>返信用はがき裏面</p> <p>印字しますので無記入 でお願いします。</p>	<p>返信用はがき表面</p> <p>返信</p> <p>郵便番号 受講者住所 受講者氏名</p>	<p>往信用はがき裏面</p> <p>氏名(フリガナ) 性別 年齢 郵便番号 住所 電話(FAX)番号 希望講座(複数可) 介助が必要な方はその旨をご記入ください</p>
---	--	---	---

詳しいお問い合わせ

※開室時間 9:00 ~ 17:30
祝日は閉室となります。

はびきの市民大学(業務受託者:株式会社みのりの里)
〒583-0854 羽曳野市軽里1-1-1 LIC はびきの内
TEL 072-950-5503 FAX 072-950-5650
E-mail shimindaigaku@minorinosato.com

①まちづくりについて考えよう～ボランティアを通してのまちづくり～					日曜日【1限】 10:30～12:00	
「まちづくり」と一言でいっても、その内容や活動は様々です。この講座では、ボランティア活動を通して、「まちづくり」にどのように地域住民は関わり、活動できるかを考えます。※5/8と5/22の講義はボランティア体験です。どちらか1回の参加で2講義分となりますが、5/8のアジア図書館については、定員が7人のため応募者多数の場合は抽選となります。						
1	4/24	ボランティア入門!	7	6/12	観光まちづくりとボランティア	
2	5/8	ボランティアに参加する① ※現地体験(大阪市東淀川区)	8	6/19	別府温泉のまちづくり	
3	5/15	視覚障がい者の介助方法と、アイマスク体験	9	6/26	フランスのワイン観光	
4	5/22	ボランティアに参加する② ※現地体験(西宮市)	10	7/3	住民主導の観光まちづくり	
5	5/29	ボランティアを深める!～参加・体験のふりかえり	11	7/10	地域住民参加のまちづくり -大阪観光大学学生の地域魅力探しの取り組みを事例として-	
6	6/5	企業のまちづくりと社会貢献	12	7/17	グリーンツーリズムを生かした羽曳野市の観光まちづくり(まとめ)	

②東西の道を訪ねて～身近な道から遠大な道まで～【四天王寺大学特別公開講座】					日曜日【2限】 13:00～14:30	
古今東西にはよく知られた道があります。道を知ることによって、私たちは、その土地に根ざした文化と歴史を生き生きと感じることができるようになります。この講座では、「道」や道に関わる宿駅や橋、港などを通して何をどのように見ることができるのか、みなさんと楽しみながら学んでいきます。						
1	4/24	「道」を知る楽しみ	7	6/12	ローマの道②: その分布と形態	
2	5/8	難波の古代の道①: 海からのみち、難波津と難波の堀江	8	6/19	インカの道①: その成立と展開	
3	5/15	難波の古代の道②: 難波大道の背景とその役割	9	6/26	インカの道②: その分布と形態	
4	5/22	難波の古代の道③: 住吉津・榎津と磯齒津路(しはつみち)の復原	10	7/3	近世の街道: 摂河泉を中心に	
5	5/29	アレクサンダーの道	11	7/10	高野街道と三日市宿	
6	6/5	ローマの道①: その成立と展開	12	7/17	「道」を通して見えてくるもの	

③村上春樹と12人のライバルたち					日曜日【3限】 15:00～16:30	
ノーベル文学賞候補でありミリオンセラー『1Q84』で社会現象にもなった村上春樹の文学を、関係の深いライバルたちとの比較で読み解きます。講師は春樹研究歴20年、近著『村上春樹のエロス』他著作多数刊行しています。						
1	4/24	村上同士の対決(村上春樹VS村上龍)	7	6/12	社会現象となったベストセラー対決 ([『ノルウェイの森』VS『セカチュー』])	
2	5/8	阪神間育ちの作家対決(村上春樹VS宮本輝)	8	6/19	ノンフィクション対決 ([『アンダーグラウンド』VSカポータ『冷血』])	
3	5/15	早稲田出身の作家対決 (村上春樹VS立松和、三田誠広)	9	6/26	カフカ同士の対決 ([『海辺のカフカ』VSフランツ・カフカ])	
4	5/22	ノーベル賞候補と受賞者の対決 (村上春樹VS川端康成、大江健三郎)	10	7/3	ハルキVS名探偵 (VSチャンドラーのフィリップ・マーロウ探偵)	
5	5/29	国民文学と呼ばれた作家の対決 (村上春樹VS司馬遼太郎)	11	7/10	ハルキVSギャツビー (VSフィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』)	
6	6/5	ハルキVSハルヒ (村上春樹VS谷川流『涼宮ハルヒ』)	12	7/17	ハルキVSカラマーゾフ (VSドストエフスキー『カラマーゾフ』)	

④放送進化論～いつも時代の中心にいるのは「テレビ」です。～【大阪芸術大学提携講座】					水曜日【1限】 10:30～12:00	
2011年7月、遂に日本のテレビ放送の完全地上デジタルが施行されます。そのことで一気に「放送と通信の融合」が加速します。果たしてそれは私たちの生活にどんな変化をもたらすのでしょうか。公共放送の番組づくりから民間放送の制作の現場、そしてアナウンサーの仕事からTVコマーシャル制作の裏話まで放送学の楽しさを多角に学んで行きましょう。						
1	4/20	放送進化論/講座開講にあたって	7	6/8	街はメディアだ/タウンウォッチング	
2	4/27	テレビ・ラジオ放送のあゆみ	8	6/15	ニュースの価値判断(メディアリテラシー)	
3	5/11	探偵ナイトスクープのプロデューサーがやって来た	9	6/22	ドラマ制作の現場から	
4	5/18	なぜ地デジ?あと2ヶ月	10	6/29	シナリオ企画の魅力	
5	5/25	「詩」の魅力と美しい言葉	11	7/6	標準語から共通語へ アナウンサーの仕事	
6	6/1	おもしろテレビ放送の仕組み	12	7/13	放送学科と芸大テレビ制作の現場	

⑤～百舌鳥・古市古墳群をより深く知るための～ 世界遺産講座					水曜日【2限】 13:00～14:30	
世界遺産候補としての百舌鳥・古市古墳群の価値をより深く知るために、百舌鳥・古市古墳群とも共通する東アジア各地の王陵のすばらしさ、発掘で探る王陵のすがた、市民にとっての世界遺産の価値とは何か、それは世界の人々にどう伝わるのか、さまざまな視点から、その第一人者を市外から講師として招き世界遺産を考えます。各地の王陵の貴重な写真や資料にもご期待ください。※4/22は金曜日、5/10は火曜日の開講ですのでご注意ください。						
1	4/22	世界遺産の見かた	7	6/8	飛鳥の王陵	
2	4/27	世界遺産の歩き方-古市古墳群の大王陵-	8	6/15	百舌鳥・古市古墳群発掘史	
3	5/10	世界遺産 秦始皇帝陵	9	6/22	河内の大王墓を発掘する	
4	5/18	世界遺産 高句麗古墳群	10	6/29	東アジアの王陵と百舌鳥・古市古墳群	
5	5/25	世界遺産 新羅王陵	11	7/6	世界遺産としての百舌鳥・古市古墳群	
6	6/1	世界遺産 朝鮮王陵	12	7/13	世界が見る百舌鳥・古市古墳群	

⑥歌と芸能から見る江の時代				【大阪教育大学提携講座】		水曜日【3限】 15:00～16:30	
2011年放送のNHK大河ドラマ「江-姫たちの戦国」で描かれる時代は戦国時代末期から江戸時代初期に当たります。この時代は社会が動乱から安定に移行する時期で、人々が愛唱した流行歌や熱狂した芸能にも大きな特色が見られます。それらをもとに当時の人々の人生観について考えます。							
1	4/20	江(ごう)の時代	7	6/8	隆達節の世界②		
2	4/27	『閑吟集』の世界①	8	6/15	幸若舞(こうわかまい)の世界		
3	5/11	『閑吟集』の世界②	9	6/22	能楽の世界		
4	5/18	『宗安小歌集』の世界	10	6/29	初期歌舞伎謡の世界		
5	5/25	『美楊君(びようくん)歌集』と室町小歌の世界	11	7/6	説経節と浄瑠璃の世界		
6	6/1	隆達節の世界①	12	7/13	歌と芸能から見る人生観		

⑦日本映画のたのしみかた				【学長企画講座】		土曜日【1限】 10:30～12:00	
日本映画に再び注目が集まっています。その魅力を無声映画にさかのぼって振り返り、各時代の名作を実証的に鑑賞します。							
1	4/23	日本映画通史	7	6/11	娯楽映画の多面性-3つの細雪をみる その2-		
2	5/7	無声映画時代-日本映画のふたつの系列『十字路』『爆弾花嫁]-	8	6/18	世界のクロサワ-『用心棒』その1-		
3	5/14	トーキーの誕生-『マダムと女房』『モロッコ』『雨に唄えば]-	9	6/25	世界のクロサワ-『用心棒』その2-		
4	5/21	社会への挑戦-『祇園の姉妹』その1-	10	7/2	芸道ものあれこれ-『残菊物語』など-		
5	5/28	社会への挑戦-『祇園の姉妹』その2-	11	7/9	谷崎潤一郎と若尾文子-『卍』『刺青』-		
6	6/4	娯楽映画の多面性-3つの細雪をみる その1-	12	7/16	宝塚映画と小津安二郎-『小早川家の秋』-		

⑧リーマンショック後の世界情勢と日本の経済社会				【阪南大学提携講座】		土曜日【2限】 13:00～14:30	
2008年9月のアメリカを震源とする世界的金融危機は、日本経済にも大きな打撃を与えました。本講座では、バブル崩壊以後「失われた20年」といわれる日本経済の動向や課題について、多面的な角度からアプローチを試みるとともに、リーマンショック後の最近の変化する世界情勢の中で、広く日本の経済や社会生活の諸問題に対して活路や再生の途を探っていきます。							
1	4/23	世界的金融危機と日本の不況	7	6/11	中国経済の膨張と日本経済		
2	5/7	ゲーム理論で考える経済問題	8	6/18	自動車産業の再編からみた日本経済		
3	5/14	繰り返される金融危機	9	6/25	少子化のゆくえ-その解決策は?-		
4	5/21	為替で読み解く日本経済	10	7/2	デフレーションと市民生活		
5	5/28	東南アジア経済の変容-日本のチャンスと課題-	11	7/9	人材育成を図るうえで学校の役割と課題		
6	6/4	経済からみる日本と南アジアの関係	12	7/16	転換期にある日本の河川政策		

⑨“食べもの・飲みもの”から見えてくるもの				【四天王寺大学特別公開講座】		土曜日【3限】 15:00～16:30	
世界には文字通りさまざまな“食べもの”や“飲みもの”があります。本講座で取りあげるのはそのほんの一部ですし、なじみのないものもあるかもしれません。しかし、それらの“食べもの・飲みもの”について掘り下げて考えてみると、われわれが知っておかなくてはならない大切なことが見えてきます。一緒に学んでみませんか。							
1	4/23	ドネルケバブ(ドイツ) トルコ風ファーストフードから見る現代ドイツ社会	4	5/21	コーヒー(イスラム圏):“信仰”と“生活”の間		
2	5/7	コカとコカイン(アンデス&アマゾン) 異文化理解に向けて	5	5/28	砂糖(イギリス):いまに残る大英帝国繁栄の痕跡		
3	5/14	チョコレート(ガーナ):甘さと苦さの狭間に生きること	6	6/4	だし(日本):おふくろの味は袋(インスタント)の味?!		

⑩大阪のことば—その歴史と文化—				【大阪大学 21世紀懐徳堂提携講座】		木曜日【イブニング】 19:20～20:50	
大阪のことばをテーマに、“江戸時代の文学作品に現れた大阪方言”、“落語・漫才の大阪ことば”、“現代の大阪方言”という3つの観点から捉え、その歴史の深さ、空間的広がり、言語としてのヴァイタリティなどについて考察します。							
1	4/28	江戸時代文学に現れた大阪方言(1)～近松と西鶴	4	6/16	漫才・喜劇と大阪弁イメージ		
2	5/12	江戸時代文学に現れた大阪方言(2)～東海道中膝栗毛	5	6/30	言語地図でみる大阪弁		
3	6/2	上方と江戸・東京～歌舞伎、落語等	6	7/21	現代における大阪弁の変容		

小惑星探査機「はやぶさ」のおはなし&ペーパークラフトきょうしつ ☆はびきの市民大学 公開講座☆

～地球大気圏再突入を見てきました～

日時: 2011年3月12日(土)
 第1部(おはなし) 10:00～10:45
 第2部(ペーパークラフト) 11:00～11:45

対象: 小・中学生 ※小学4年生以下保護者同伴(児童1人につき1人のみ)

参加費: 500円(ペーパークラフト込) ※保護者無料 ※1/13～3/5 先着順にて受付。

申込: 電話(072-950-5503)または、来室にてお申し込みください。

定員: 36人 定員になりしだい締め切り。

持参品: はさみ・スティックのり・作品を入れる袋・筆記用具

その他: 詳細は、はびきの市民大学事務室までお問い合わせください。

